

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	救急処置法		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 金曜1限	教室名	2校舎401・柔道場
担 当 教 員	原 和 泉	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
自分を助け、目の前で突然倒れた人や意識のない人を助ける心肺蘇生、AEDを用いた除細動、気道異物除去に加えて急な病气やけがをしたに対して適切な対応を理解し、出来るようになる						
《成績評価の方法と基準》						
実技、学科を行う。平均点評価:70% 出席評価:30% 平常評価:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリントを配布						
《授業外における学習方法》						
次回までに復習し繰り返し練習する。						
《履修に当たっての留意点》						
講義、実技内容を理解し緊急時に観察、判断をして自己保全できるようにする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ ガーゼ	繰り返し練習	
		各コマに おける 授業予定	包帯法			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ ガーゼ	繰り返し練習	
		各コマに おける 授業予定	包帯法			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ ガーゼ	繰り返し練習	
		各コマに おける 授業予定	包帯法			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ ガーゼ	繰り返し練習	
		各コマに おける 授業予定	包帯法			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ ガーゼ・タオル	繰り返し練習	
		各コマに おける 授業予定	固定方法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ガーゼ・タオル	繰り返し練習
		各コマにおける授業予定	固定方法		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ガーゼ・タオル	繰り返し練習
		各コマにおける授業予定	搬送		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ガーゼ・タオル・Qマスク	繰り返し練習
		各コマにおける授業予定	止血法・蘇生法		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ガーゼ・タオル・Qマスク	繰り返し練習
		各コマにおける授業予定	蘇生法		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ガーゼ・タオル・Qマスク	繰り返し練習
		各コマにおける授業予定	蘇生法		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ガーゼ・タオル・Qマスク	繰り返し練習
		各コマにおける授業予定	蘇生法		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	手当の学科・実技の理解をすることができる。	プリント・三角巾・ガーゼ・タオル・Qマスク	繰り返し練習
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	学習した内容を実践できる	プリント・三角巾・ガーゼ・タオル・Qマスク	繰り返し練習
		各コマにおける授業予定	実技評価		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	学習した内容を実践できる	プリント・三角巾・ガーゼ・タオル・Qマスク	繰り返し練習
		各コマにおける授業予定	実技評価		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	学習した内容を再現できる		授業内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	学科評価		